

5. 災害調査(12) 新潟県小千谷市上片貝地区なだれ調査 (2013. 1. 31)

研究代表者	雪氷防災：上石 勲	実施期間	平成 24 年度
研究参加者	岐阜大：森口周二、小田憲一		

[目 的]

2013 年 1 月 31 日、新潟県小千谷市上片貝地区で雪崩が発生し、斜面下部を通っている国道 117 号を埋設した。新潟県長岡地域振興局長岡地域整備部小千谷維持管理事務所と協力し、現地踏査による雪崩発生状況調査、積雪調査を実施した。

[実施内容]

調査実施日：2013 年 1 月 31 日

調査箇所：新潟県小千谷市上片貝(図 1)

[成果と効果]

調査により雪崩発生状況や積雪状況などについて把握した。

- ・雪崩発生日時：2013 年 1 月 31 日
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約 100m、幅約 50m
- ・発生面での傾斜：約 40～45 度
- ・雪崩発生状況

信濃川段丘崖である斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を埋めた(図 2)。この斜面昨年にも雪崩が発生したが、移動量が 1 日数 cm～数 10cm のゆっくりとした流れであった。新潟県によれば今年の雪崩は速度はこれよりも早く一度に道路に堆雪したとのことである。積雪は全層ぬれざらめ雪で積雪底面には水が流れているのが確認された(図 3)。この大量の融雪水と全層雪崩発生には関連が深いものと推定される(図 4)。



図 1 雪崩発生ならびに流下状況



図 2 雪崩発生状況



図 3 積雪底面



図 4 積雪状況

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については新潟県長岡地域整備部小千谷維持管理事務所からの情報を頂いた。今回の現地調査を同時に行い、今後の対策についてのアドバイスをを行った。